

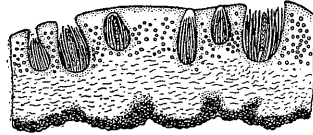
考ハヤウニ依ッテハ^{つゝ}も即チ *Ipomoea edulis* MAKINO. ヲ^{つゝ}めりか^{つゝ}も即チ *Ipomoea Batatas* LAM. ノ一變種トスルコトモ出來ルノヲ私ハ其學名ヲ *Ipomoea Batatas* LAM. var. *edulis* MAKINO. トシタコトモアツタ或ハ斯ウシタ方ガ却テ穩當ナカモ知レヌガ兎モ角モ此^{つゝ}めりか^{つゝ}もト^{つゝ}ま^{つゝ}もトヲ學問上全然區別ナキ同物デアルト想像シ漫然ト之レヲ一學名ノ下ニ記スルノハ實際上ノ事實ヲ無視スル譯デ其委曲ヲ知ツテ居ル人ノトテモ出來ナイコトデアル

(本篇ハ新ニ舊稿ヲ修補シタモノデアル)

○蓄軒獨語 (其八)

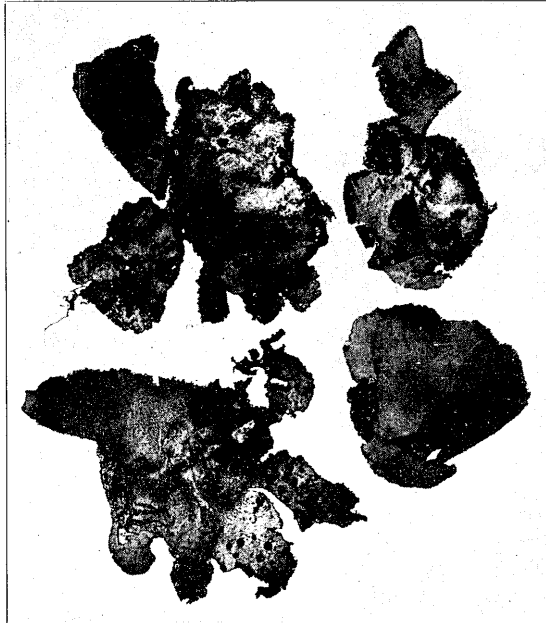
蓄軒 朝比奈泰彦

○いはたけノ記載 吾國デ食用ニ供スルいはたけ *Gyrophora esculenta* MIYOSHI. ハ市販品ニモアル位デ人ノヨク知テ居ル地衣デアルガ其正確ナル邦文ノ記載ハ未ダ何處ニモ見付カラナイ、三好博士ガ最初いはたけニ上記ノ學名ヲ附ケテ發表セラレタノハ *Botanisches Centralblatt* (Bd. LVI. 1893, p. 161) 誌上デアツテ獨逸文デ認メテアル、又唯一ノ邦文記載ハ明治三十二年ノ頃刊行サレタ新撰日本植物圖説下等隱花類部第一卷第六圖版デアツテ其處ニハ無子器ノいはたけノ網版外形圖ト若干ノ解剖圖ガアリコレニ約一頁ノ解説文ガ附屬シテ居ル、然ルニ予ハ此文ヲ讀ム毎ニ合點ノユカヌ不審ノ點ニ氣付クノデアアル、ソレハ該地衣ノ子器ノ性狀ノ條リニ「……………子器ハ沈在シ囊狀ヲナシ小口ニヨリテ外ニ開ク……………」ト云フ文句デアアル、果シテコレガいはたけノ子器ノ記載トスレバいはたけハ *Gyrophora* 屬ニハ入り得ナイト思フ、加之同圖版4ニハ「葉狀體ノ切斷面、數多ノ子器ヲ示ス(凡ソ九十五倍)」トシテ左上端ノ圖ガアル此圖ハ此文句トヨク一致スルガ益々以テ *Gyrophora* 屬デハナクナツテクル、ソコデ予ハコレハ何カノ間違デかはいはたけ *Dermatocarpon* 屬ノモノ、解剖圖デモ



4

新撰日本植物圖說(下等隱花類部)第一卷第二集第六圖版
いはたけ(三好學博士)ノ圖版中ノモノ

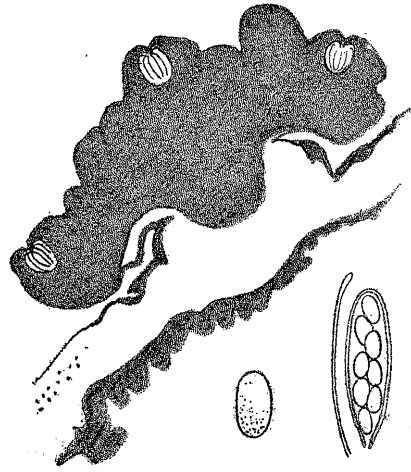


子器ヲ有スルいはたけ (*Gyrophora esculenta* Miyoshi.) (表面)



同 上 (裏面)

ガ入ッタノデハナカルマイカト考ヘタコトモアル、故安田篤氏日本産地衣類圖說ニモ同様ノ誤謬ノアルノハ之ヲ引用シタモノデアラウ、上記ノ疑問ハ餘程前カラ予ノ頭ノ中ヲ往來シテ居タガ完全ナ標本ガ手ニ入ラナカッタノデ其儘ニナツテ居タ、然ニ頃日予ハ木曾駒嶽ニ登リ裸子器ノアルいはたけノ完全ナ標本多數ヲ得之ヲ検査シテ漸ク解決ヲ附ケルコトガデキタ、實物ニヨルトシはたけハ他ノ (*Gyrophora* 屬ノ地衣ト同ジク眞黒ナ圓板



いはたけ (*Gyrophora esculenta* Miyoshi.)
 縦断セル子器(上) 子囊ト絲狀體(下右)
 胞子(下左) (菌軒原圖)

狀又ハ半球形ノ子器ヲ有シ盤ハ明ニ渦卷狀ノ褶紋ヲ呈シ葉
 狀體ノ上面ニ散布點在シテ居ル、ソコデドウシテ新撰日本
 植物圖説ガ如上ノ如キ間違ヲ書タカヲ取調べル爲ニ先ツ三
 好博士ノ獨逸文ノ原著ヲ見タ所ガ子器ノ記載ハ

Fruchtkörper zerstreut, halbkugelig hervorgewölbt oder
 eingesenkt, öfters rilling gefaltet, unbenadet; (子器ハ散
 在シ半球狀ニ穹窿シ又ハ沈下シ屢々渦卷狀ノ褶紋アリ縁ヲ
 闕ク)

ト嚴然ト書テアリ實況ト少シモ違ハヌ、而シテ新撰日本植
 物圖説ノ記載ヲ作ル際勿論原著ヲ基トシタモノト思フガ此
 一節ヲ脱落シタモノデアル、ソシテ其次ノ原文

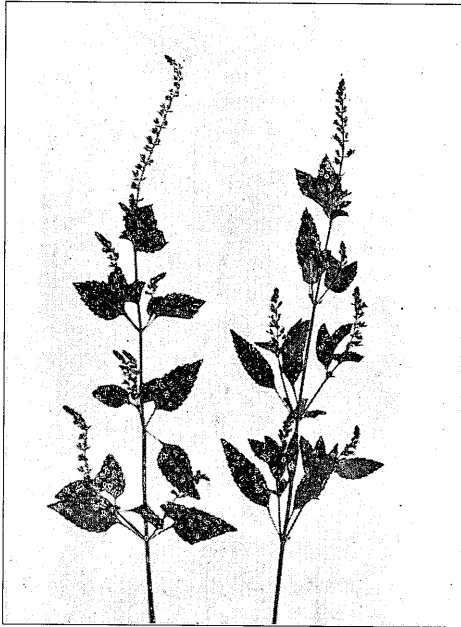
Früchte eingesenkt, krugförmig, mit kleiner Oeffnung...

トアル文ノ Früchte ヲ子器 (即チ Apothecia) トシテシマッタモノダカラ「子器ハ沈在シ云々」ノ記事ヲ生ジ
 タ、然シ此處ノ文ハ子器ノ断面ノ説明デアツテ Früchte ハ子器其物デナク Hymenium ヲ意味スルノデ同書
 第六圖版 4 圖ハ葉狀體ノ断面デナク子器ノ断面ノ模型圖ト見レバ宜シイ、但シサウスルニハ同圖ノ縁體ノ様
 ナ小圓形ノ模様ハ取り除キ周圍ヲ黒クシナケレバナライ、次ニモウ一ツ上記邦文記事ノ不審ナル點ハ胞子ノ
 大サガ長サ二・五「ミュー」幅八「ミュー」トナツテ居ルガコレハ獨逸文ノ方ニハ長サト幅トガ入レ違テ居リ其
 ノ書キ違ト見ラレルガ予ノ實測ニヨルト長サ二乃至一五「ミュー」幅八乃至一〇「ミュー」デアツテ少シク大

キイ、序ニ精子(Spermatia)又ハ、Pyrenospore)ノ大サヲ附記スレバ桿狀デ長サ三「ミュー」幅一「ミュー」程デア
アル

○香料植物雜誌 (一)

いぬかうじゅ Mosla punctata MAXIM.



いぬかうじゅ (Mosla punctata MAXIM.)

藥學博士 村山 義 温

いぬかうじゅハ汎ク知ラレテ居ル野外植物ノ一デア
アツテ分類上デハ Mosla 屬デアアルカラ同シ屬ノ
やまじモ Mosla japonica MAXIM. ヤおほやまじ
モ Mosla Hadai NAKAI. ノ様ニ「チモール」ヤ
「カルヴンクロール」ノ様ナ「フェノール」ガ含マレ
ル豫想ガスルノデ其油ヲ探テ見タトコロ全ク反對
ノ結果デ「フェノール」ノ類ハ少モ含マズ全然異ツ
タ「ツョーン」ト云フ「ケトン」體ガ證明サレタ、
今一ツ同屬ノひめじモ Mosla grosserrata MAXIM.
カラハ「チモール」ガ採レタカラ化學的成分カラ
云フトいぬかうじゅハ Mosla 屬ノ異例デアアルカ
ノ觀ガアル、サテ此「ツョーン」ト云フ「ケトン」
ハ彼ノサルフィア Salvia officinalis L. ノ葉ニ含マ